

KAWACHI



SAIGOKU

河内西国三十三所観世音めぐり

IN ひらかた ガイドブック



河内西国三十三所観世音めぐりとは

「河内西国三十三所観世音めぐり」のもととなる「西国三十三所観音霊場」は、養老2年(718年)に長谷寺(奈良県)の徳道上人によって設けられたとされています。そもそも三十三という数字は「観音様は三十三の姿に身を変えて人々を救う」という「観音経」の教えに基づき、三十三所を巡礼参拝することで救われていくと考えられています。

「西国三十三所観音霊場」の札所は近畿2府4県と岐阜県という広範囲に及ぶことから、大坂高麗橋の津田元治郎氏が発起人となり、「西国三十三所観音霊場」の札所の詠歌に当時の北河内郡の寺院をあてはめたものが、「河内西国三十三所観世音めぐり」となり、現在の枚方市、寝屋川市、交野市及び四條畷市の4市に今も存在しています。

より身近となった観音様を訪れる機会として、ぜひ本ガイドブックをご活用ください。

観世音めぐりについてのお願い

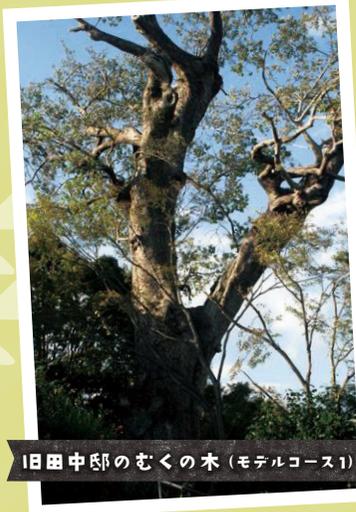
「河内西国三十三所観世音めぐり」は本家の「西国三十三所観音霊場」と違い、観光用に整備されているものではありません。掲載されているお寺では、札所としての受け付け体制が必ずしも十分にとられていないとは限らないので、事前に各寺院に連絡を取ってから行かれるようにお願いします。また、参拝される際は各寺院の決まりに従い、マナーを守っていただくようお願いいたします。



第10番 円通寺 御朱印



第9番 清伝寺 御朱印



旧田中邸のむくの木 (モデルコース1)

寺院一覧表	1
モデルコース1	2
モデルコース2	3
モデルコース3	4
モデルコース4	5
モデルコース5	6
モデルコース6	7
モデルコース7	8
モデルコース8	9
10	10

目次

河内西国三十三所観世音めぐりとは

河内西国三十三所観世音めぐり寺院一覧

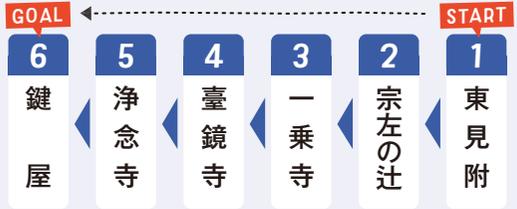
NO	寺院名	住 所	NO	寺院名	住 所
第 1 番	光明院	交野市	第 20 番	松宝寺	交野市
第 2 番	一乗寺	枚方市岡南町 3-16	第 21 番	雲林寺	交野市
第 3 番	浄念寺	枚方市三矢町 7-21 (2018年11月現在拝観停止中)	第 22 番	光明寺	交野市
第 4 番	正光寺	枚方市磯島元町 8-13	第 23 番	慈光寺	交野市
第 5 番	浄蓮寺	枚方市禁野本町 1-6-12	第 24 番	光林寺	交野市
第 6 番	白雲寺	枚方市	第 25 番	金龍寺	枚方市茄子作北町 36-19
第 7 番	西方寺	枚方市中宮東之町 6-16	第 26 番	本誓寺	枚方市茄子作 2-11-22
第 8 番	明遍寺	交野市	第 27 番	西蓮寺	寝屋川市
第 9 番	清伝寺	枚方市三栗 1-5-14	第 28 番	大正寺	四條畷市
第 10 番	円通寺	枚方市津田元町 2-18-1	第 29 番	明光寺	寝屋川市
第 11 番	明尾寺	枚方市山田池南町 3-1	第 30 番	正縁寺	寝屋川市
第 12 番	正念寺	枚方市招提元町 1-13-1	第 31 番	正円寺	四條畷市
第 13 番	称念寺	枚方市長尾元町 2-33-28	第 32 番	弥勒寺	四條畷市
第 14 番	西方寺	枚方市	第 33 番	大念寺	寝屋川市
第 15 番	来雲寺	枚方市尊延寺 5-10-44	別格寺	光明寺	枚方市村野本町 23-21
第 16 番	想善寺	交野市	別格寺	長泉寺	枚方市甲斐田町 17-25
第 17 番	光通寺	交野市	別格寺	釈尊寺	枚方市釈尊寺町 1-10
第 18 番	正法寺	四條畷市	別格寺	臺鏡寺	枚方市枚方元町 6-54
第 19 番	西雲寺	枚方市渚元町 24-1	別格寺	須弥寺	交野市

※枚方市内の許可を得たお寺のみ住所を掲載しています。

情緒あふれる江戸時代の
宿場町の風情が楽しめる！

モデルコース1

各スポットの所在地はこちらのQRコードから！



本陣跡の公園から京街道を道なりにしばらく進むと、右側に見えるお寺が第三番札所の浄念寺です。このまま京街道を進めば右手に市指定文化財鍵屋主屋のある市立枚方宿鍵屋資料館、宿場における西の出入口西見附に至ります。

お寺が別格寺の臺鏡寺です。

京街道に戻り左手に万年寺山を見ながら西にしばらく進むと十字路があり、右側に小さな公園があります。この場所はかつて枚方宿本陣があったところですが、今はトイレもある公園になっています。十字路を左折し、踏切を渡りすぐ右折後まっすぐ進むと右側に階段が見えてきます。階段の上にあるお寺が別格寺の臺鏡寺です。

春には多くの花見客で賑わう桜の名所天野川の堤防沿いにあり、京街道枚方宿の出入口にあたる東見附からスタート。枚方市駅北口のロータリーを左手に見ながら大きな通りを横切り進んでいくと、京街道と磐船街道の分岐点「宗左の辻」の道標が見えてきます。少し街道をはずれ、京阪電車の高架下を大阪方面に歩き、駐輪場入り口の角を左に曲がりまっすぐ進むと正面に見えてくるのが第二番札所の一乗寺です。京街道に戻り左手に万年寺山を見ながら西にしばらく進むと十字路があり、右側に小さな公園があります。この場所はかつて枚方宿本陣があったところですが、今はトイレもある公園になっています。十字路を左折し、踏切を渡りすぐ右折後まっすぐ進むと右側に階段が見えてきます。階段の上にあるお寺が別格寺の臺鏡寺です。

春うららかな
桜の季節には特におすすめ。

モデルコース2

各スポットの所在地はこちらのQRコードから！



牧野公園はかつて片苳神社の一部であったところで、枚方八景のひとつ「牧野の桜」で有名です。春には花見客で賑わいます。
牧野公園から西に5分ほど行くと牧野駅です。

本殿が国の重要文化財に指定されている片苳神社は、清伝寺から京街道を京都方面に1kmほど行ったところにあり、途中、一の鳥居跡、阪今池公園を経て穂谷川にかかる橋を渡ると大阪府指定有形文化財の南門が、境内には大阪府指定有形文化財の石造灯籠があります。本殿の東にある大阪府指定有形文化財の東門を上げると牧野公園に出ます。

惟喬親王の別荘があったとされている渚院跡は、御殿山駅から北東に5分ほど歩いて突き当たり左の街中で、市立渚保育所の横にあります。
第九番札所清伝寺は、京阪御殿山・牧野駅

のほぼ中間で、府道13号京都守口線の三栗の信号を東へ入った、京街道沿いになります。夜道でおそわれた娘さんの身代わりになったと伝わる地藏様が安置されています。
本殿が国の重要文化財に指定されている片苳神社は、清伝寺から京街道を京都方面に1kmほど行ったところにあり、途中、一の鳥居跡、阪今池公園を経て穂谷川にかかる橋を渡ると大阪府指定有形文化財の南門が、境内には大阪府指定有形文化財の石造灯籠があります。本殿の東にある大阪府指定有形文化財の東門を上げると牧野公園に出ます。

四番札所正光寺は、御殿山駅から南に1kmほどの、府道13号京都守口線の大字磯島の陸橋手前を右折したところにあります。府立枚方なぎさ高校の南、淀川の堤防の東側で、かつてこの辺りが摂津国であったということが、近くの八幡神社の古い鳥居から判ります。

歴史的風情が残る
寺内町を歩くコースです！

モデルコース3

各スポットの所在地はこちらのQRコードから！



北に船橋川、南に穂谷川、東に国道1号、西に府道18号に囲まれたあたりを招提といいます。枚方市駅からバスで15分ほどの招提南町を東に歩くと、8基の地車を持つ日置天神社があります。

日置天神社から日置今池街道を北へ進むと中世の寺内町招提の中心部へ至り、河内西国三十三所観世音めぐりの第十二番札所・正念寺があります。浄土宗昌福寺末・来迎山招提院ともいいます。

年代ものの松が見もので、明治四十年には招提村の役場にもなりました。さらに進むと道は狭くなり、まるで迷路のような道筋になります。招提は真宗の道場(敬応寺)を中心とする寺内町として、佐々木源氏の流れをくむ在地領主の片岡正久と、安見宗房の家臣・小篠房純との協力体制のもと建設されました。天文十二年(1543)この地に方八町の境内の縄張りを行い、蓮如の六男・蓮淳を招き、東の低地に堤を築いてため池(御堂池)とし、周囲に土塁を築きました。後に山崎の戦いの際に明智光秀に味方したため、豊臣秀吉によって「不入の特権」を剥奪され、天正十年(1582)頃に寺内町としての歴史に幕を閉じました。招提の道場が「敬応寺」と称するようになったのは元和七年(1621)以降のことです。

御堂池から「とうかえの道」に出ると関西記念病院前バス停から樟葉行き・枚方市駅行きのバスがあり、交通は便利です。

天野川から山田池へ向かう
自然豊かなコース！

モデルコース4

各スポットの所在地はこちらのQRコードから！



七
夕伝説の天野川にかかる天津橋からスタート。橋の中央には、枚方PR大使のタレント川崎麻世さんがデザインした「しあわせのモニュメント」があります。カラフルなタイルの中に、ハートマークやくらわんか茶碗のカケラが見つかります。市立ひらかた病院に向かう府道144号の途中の森の中に第五番札所の浄蓮寺があり、バス通りを挟んで向かいには御狩野神社があります。里道のトンネルをくぐって神社に行くと、本殿の横には、白雉塚古墳石室の天井石があるので見逃しなく。ひらかた病院前を東に進み、関西外大中宮キャンパス正門前を右折し、南に進むと右手に第七番札所の西方寺があります。かつては農民運動の拠点として有名になったお寺です。外大前の道に戻り、東に進み山田小学校の北隣に甲斐田の産土神を祀る甲銚神社があります。

北の集落の中に別格寺の長泉寺があり、さらに東に進むと、参道に「カンジヨウ縄」が掛けられている山田神社があります。さらに、山田交番近くの生垣の中には、市登録文化財の田口姫の墓があります。田ノ口バス停からバスに乗り出屋敷バス停から東高野街道の町並を見ながら散策もいいたいです。

山田池公園の管理事務所近くに第十一番札所の明尾寺があります。円錐形の屋根のユニークな鐘楼が目を引きます。公園から藤阪の集落を抜けると20分ほどでJR藤阪駅に到着です。

枚方東部の
山間地域の風景が楽しめます。

モデルコース5

各スポットの所在地はこちらのQRコードから！



尊延寺



来雲寺



円通寺



春日神社



津田駅



春日神社近くの道標



山下翁頌徳碑



円通寺

禁 野火薬庫への引込線があった「R津田駅をスタート。線路沿いに北に進むと河内そうめん発展に功績のあった山下翁頌徳碑があります。碑の前を右折し踏切を渡り、山根街道を北に進むと春日神社があり、境内には奈良春日大社の旧本殿を移築した「春日移し」である春日神社本殿と、奈良春日大社末社三十八所神社の旧社殿を移築した「三十八所移し」である末社若宮八幡宮本殿があります。どちらとも市指定有形文化財です。

神社の東側の土蔵のある細道を入ると、惟喬親王と雪女の伝説を残す第十番札所円通寺の屋根が見えてきます。津田本通りバス停からバスに乗り杉バス停で下車すると、杉集落の高い所に第十四番札所の西方寺があり、その隣には産土神の若宮神社があります。バス通りに戻り、杉バス停からバスに乗り、尊延寺バス停で下車し、氷室路を歩くと大きな石灯籠があり、厳島神社が見えてきます。国指定重要文化財である末社春日神社本殿は、建築年代は明らかではありませんが、室町時代中期に遡る遺構と考えられています。隣は二基の十三仏の板碑がある第十五番札所の来雲寺です。バス通りを隔てた反対側のコンビニの奥にある尊延寺の等身大の仏像群は迫力があり、五大明王のうち降三世明王と軍荼利明王は国指定重要文化財に指定されています。近くには尊延寺バス停があり、枚方市駅行きのバスが出ます。

天野川近くを歩きながら
交野市方面へ向かいます。

モデルコース6

各スポットの所在地はこちらのQRコードから！



本尊掛松



本誓寺



金龍寺



釈尊寺



光明寺



村野駅



村野村高札場



本尊掛松



村野駅の東へ約200m行った所にある市指定有形文化財の村野村高札場は、市内で唯一現存するもので、江戸時代末期まで使われていたと考えられています。駅前の道を線路沿いに私市方面へ約150m、左手の道に入り約100m進むと丘の上に別格寺の光明寺があります。道を渡りさらに進むと前方に妙見宮の常夜灯が見えてきます。橋を渡り、交野線に平行している農道を田園風景を眺めながら郡津駅まで進みます。

郡津駅から府道18号に沿って坂を上り、新天野川橋を渡ると右手に村野神社遙拝所の緑が見えて来ます。釈尊寺団地に向かい右に曲がって進み左手の坂道を上ると、別格寺の釈尊寺があります。さらに村道を下ると徳川家との関係の深い第二十五番札所の金龍寺があります。金龍寺前の信号を渡り左手に約200m進むと右上手に第二十六番札所の本誓寺があります。村道を右手に進むと春日神社に向かう道に出ます。左手に向かうと約300mで春日神社があります。

春日神社から市立図書館茄子作分室横の道を南東に進み、府道18号を渡って突き当たりを東へ15分ほどさらに進むと、山根街道と東高野街道との分岐点近くに法明上人が十一尊天得如来像を掛けたと言われている本尊掛松があります。

天野川に架かる逢合橋を越えると交野線交野市駅に出ます。

ちょっと長めですが
見どころたっぷりのコースです。

モデルコース7

各スポットの所在地はこちらのQRコードから！



1 長尾駅



2 称念寺



3 菅原神社



4 正俊寺



5 伝王仁墓



6 市立旧田中家 鑄物民俗資料館



長尾駅前を藤阪方面に進んで最初の信号を右折し、直進すると、突き当たりに見えるのが第十三番札所の称念寺です。来た道を戻り踏切を越えると、江戸時代の旗本久貝家の菩提寺で、大阪府指定有形文化財石造十三重塔がある正俊寺が見えてきます。参拝後坂を下ると左手に菅原神社があり、境内には薬草の天台烏薬が群生しています。坂を上がって右に曲がりしばらく行くと、伝王仁墓の百済門が見えてきます。古代、論語と千字文を日本に伝えたといわれる王仁博士に因んで夏にはむくげの花が咲き誇ります。駅の方に戻り、踏切手前を左折し、左手に枚方公済病院を見ながら進み、道路を横断して王仁公園に入ります。

王仁公園は、枚方市が管理する公園の中では一番広い公園です。プール(夏期)、テニスコート、バレーボールコート、運動広場の有料施設や芝生広場があり、多くの市民に親しまれています。公園内の平和の塔をぐるりと回り、王仁プールの前を横断すると市立旧田中家鑄物民俗資料館に到着します。資料館は、大阪府指定有形文化財である「田中家住宅 鑄物工場及び主屋」を利用し、鑄物工場には鑄物や鑄物師に関する資料を、主屋には民具などの民俗資料を展示しています。また、市内の遺跡で発掘された弥生時代の移設住居跡や復元した弥生時代の竪穴住居があります。資料館から南西方向に5分ほど歩くと、JR藤阪駅があります。

大阪府内でたった2つだけ！
特別史跡を見てまわれます。

モデルコース8

各スポットの所在地はこちらのQRコードから！



宮之阪駅



百済寺跡



御殿山神社



西雲寺



渚院跡



特別史跡百済寺跡



渚院跡



また「百済寺跡の松風」として枚方八景のひとつにも選ばれています。百済寺は百済王一族の氏寺として建立されたもので、西側には百済王神社が隣接しています。神社の石段を降りると府道139号、坂を下り2つ目の信号を左に行くところの宮之阪駅に着きます。



渚院跡は基壇が復元されるなど、史跡公園として整備されています。

京阪電車「御殿山」駅から駅前広場の前の道を左手に入り約150m行くと三差路があり、右（狭い道）へ曲がってすぐのところに第六番札所の白雲寺があります。三差路から左へ、突き当たりを右直進、左へ行くとき惟喬親王ゆかりの渚院跡です。渚院跡の四つ辻を東へ入ると第十九番札所の西雲寺があります。

西雲寺の境内観音堂には渚院跡にあった観音寺の本尊、十一面観音像が安置されています。渚院跡前の道を御殿山に向かって直進すると右手に鳥居が見えてきます。鳥居をくぐり石段を登りきったところに御殿山神社があります。すぐ横の御殿山生涯学習美術センター前のアート坂を下り、殿山百済道を直進、バス通りまで歩き禁野保育所前の信号を渡ってさらに直進し、明倫小学校前の交差点を左に曲がれば百済寺跡に到着します。国の特別史跡である百済寺跡は基壇が復元されるなど、史跡公園として整備されています。

編集・発行

枚方市

編集協力

枚方観光ボランティア
ガイドの会